

みんなの らいふ

前橋市自立支援協議会広報
みんなのらいふ 第34号
発行日 令和6年2月1日

発行元：前橋市自立支援協議会
問い合わせ：前橋市障害福祉課 前橋市自立支援協議会
広報啓発部会 事務局
電話 027-220-5711
FAX 027-223-8856
URL https://www.city.maebashi.gunma.jp/kenko_fukushi/4/10/1/11867.html

【題字】三森 英範さん（ピアーズ利用者）

❄️ みんなのアーティスト(作品紹介) ❄️



題字・作品を募集中

本紙に掲載する題字や作品（イラスト、挿絵等）を募集しています。あなたの作品で本紙に彩をそえていただけませんか。詳しくは事務局（連絡先は表紙に記載してあります）へお気軽にお問い合わせください。

次回の作品応募締切日は2月29日（木）です。

【作 者】三森 英範

【作 品 名】願いをのせて

【作品説明】いろいろな人の、いろいろな願いが叶うといいな、と思い描きました。また、表紙になる作品としてインパクトを強くしました。



第12回みんなのフェスタを開催しました！



前橋市では、相談支援事業所をはじめとする地域の障害福祉に関する中核的な役割を果たす定期的な協議の場として「前橋市自立支援協議会」を設置しています。この前橋市自立支援協議会の主催で12月9日（土）に前橋市総合福祉会館において、障害のある人もない人も共に出会い、交流できる場としてのイベント「第12回みんなのフェスタ」を開催しました。昨年は3年ぶりに開催をしましたが、コロナ禍ということもあり規模を縮小した形での開催でした。そしてついに今年は、4年ぶりに会場や規模を通常に戻して開催することができました。

体験コーナー



手話、点訳、要約筆記、車いす、盲導犬などの各体験コーナーのほか、盲卓球やボッチャのスポーツ体験コーナーを設置しました。手話コーナーでは団体紹介や手話体験、点訳コーナーでは実際に機械を使用した点訳体験、要約筆記コーナーでは要約筆記会の説明や要約筆記、筆談の体験が行われました。車いす体験ではスロープなどを使用した介助体験、盲導犬コーナーでは盲導犬紹介や実際に盲導犬の手綱の握り館内を周回する体験、スポーツ体験コーナーでは実際の道具を使用した盲卓球、ボッチャ体験が行われました。どのコーナーも、普段はなかなか体験する機会が少ないものばかりですが、各団体の係員さんと一緒におこなうことで、皆様楽しく体験し学ぶことができました！また「まちの保健室」も設置し、希望者へ簡単な健康チェックも行われました。



作品展示コーナー



今回は4つの事業所から、絵画、書道、ハンドメイド雑貨などなど、個性を活かしたアート作品を多数出品していただきました！来場者の方々も次々に足を止め、作品たちに目を奪われた様子でした。素敵な作品をありがとうございました！

ステージ発表



ステージ発表に参加いただいたのは、前橋手話サークル連絡会、フラカレン、ザ・リバイバルゴスペルクワイア、つゆ草和太鼓愛好会、心影流剣彰会の5団体です。今年は「交流」をテーマとし、各団体さんには会場の方々と一緒にできるようなステージを用意していただきました。どのステージも多くの人に元気と勇気を与えた力強いステージだったと思います。会場も大いに盛り上がっていました！



★ 参加された方へのインタビュー ★

前橋手話サークル連絡会



緊張感のなかで楽しい発表
ができたと思います！この
ようなフェスタを企画して
いただきありがとうございます
ました。

フラカレン



観客の皆さんも「見
よう！」という意欲
で、見ていただき、
気持ちよく踊れまし
た！

ザ・リバイバルゴスペルクワイア



出演されたどの団体
も演者と観覧者が一
体となりとても素晴
らしかったです！

つゆ草和太鼓愛好会



子供達は皆「楽し
かった」と満足の
ようでした。

心彰流剣彰会



スタッフの皆様の対応が
大変良かったです。ありが
とうございました！

素敵なおステージをありがとうございました！また、関係者
の皆様もご協力いただきありがとうございました。

編集後記

梅の開花があちこちで報じられる季節となりましたが、読者の皆様はいかがお過ごしでしょうか？

今号ですが、去年の12月9日に開催されました「みんなのフェスタ」の特集号として発行する運びとなりました。前回の「みんなのフェスタ」は第二コミュニティセンターを会場に開催しましたが、会場が手狭だったため小規模になってしまいました。今回は総合福祉会館での開催で、4年ぶりとなります。初めて関わるスタッフが多い中、広々とした会場が無事に盛大に開催することができました。催し物の内容は記事の通りで、大変な盛り上がりでした。関係者の皆様、御苦労様でした。

本誌の表紙を飾る作品を募集しておりますので、ご応募いただければ幸いです。

次回は令和6年5月15
日に発行予定です

